

リアルタイム児童評価システムの発展と実践

長野県塩尻市立塩尻西小学校 教諭 河西一樹

bkasai@shiojirinishi-e.ed.jp

Web サイト : <http://www.shiojirinishi-e.ed.jp/cec2005/index.htm>

キーワード : “形成的評価, ポートフォリオ, PDA, ASP, ネットワーク, 掲示板”

1. プロジェクトの概要

本校では昨年学校企画の助成金を元にPDAを使った児童の評価システムを開発・試行をしてきた。PDAを使うことで学校内いつでもどこでも子どもの「気づき」をイントラネットのホームページに入力できる。半年の試行で千件近くの子どもの評価情報を共有・蓄積することができた。しかし、システムの利用者それぞれが必要とする情報を柔軟に供給できないという課題が残った。今年度はその改善を図ると共に、蓄積された評価情報の分析機能、児童の指導について検討できる掲示板などを追加しさらに使いやすいシステムに発展させてきた。

2. 研究の内容

- (1) PDA (小型の情報端末) やパソコンからホームページを通じて子どもの教科活動、生活の様子などを個人別に入力する。
- (2) 蓄積された情報を元に連携して児童への支援するときの参考にする。また、通知表や保護者懇談、要録作成時の資料にする。
- (3) 利用者の意見感想を下にシステムをより使いやすいものに改善していく、さらに子どもたちの評価の情報より系統的に分析するために、「分析画面」を追加する。また、システムを介して、時間のない教員同士が情報交換できるよう「掲示板機能」追加していく。

・企画組織 利用職員 計8名 ・蓄積データ数 (2005年9月~2006年1月末まで) のべ900件

3. 成果 (○) と課題 (●)

○多くの先生方による試用、及びデータの蓄積、試行による感想意見⇒システムの改善機能の追加

①入力簡略化

PDAやパソコンを使っている時、繰り返しの作業は面倒で、多くの情報を入力する時などの妨げになる。そこで、何度も使う共通の部分は、定型文を用意し入力できるようにした。

また、子どもの氏名選択も、子どもの学籍番号を用いていたが、クリッカー一つでできるようになった。

②集計画面の追加

入力した情報がどれくらいたまっているのか蓄積しているかを見て、その児童の良さが現れる場面と行動の傾向を探ることができるよう、入力した情報の集計画面を用意した。また、この画面は教師自身の評価の仕方を客観的に振り返ることができる。

③簡易掲示板機能の追加

入力された情報をもとに、意見交換ができる掲示板機能を追加した。教員間のちょっとした連絡にも使うことができる。

○通知表、懇談会資料への評価情報の利用

蓄積された評価情報を、通知表や保護者懇談会の資料として活用することができた。今まで、担任が知れない児童の姿や、客観的な第三者からの見解を知らせることができた。

○システム利用者、保護者へのアンケートを実施 (その結果から)

「担任だけでは見落としてしまう点も、他の教師により評価してもらえてうれしい。」

「治すべきところがある場合、「どうしたらよいか」という対策も記してあったのでわかりやすかった。色々な先生の中から見た子どもの様子がわかった。担任の目が届かないところを他の先生が見ているという安心感がある。その反面、みんなに見られることにより息が抜けないのでは。」

○システムをより多くの人に使ってもらうための工夫

システムの便利さを多くの人にわかってもらい、利用していただけるようにホームページを公開し機能や使い方を公開した。また、使い始めた後、操作がわからなくなった時のためにマニュアルの作成し、配布した。

● 評価を集め集計して結果を見ることはできるようになったが、それを場面や行動、教科の観点や分野などで分類していくことは不十分である。分類項目を検討していきたい。

● 評価の方法は、教員によって独自のものが多く、まだ、学校内の全ての先生に使っていただける状況ではない。このシステムを、学校内で多くの人に使っていただけるように、更なる普及宣伝活動を行って行きたい。

● このシステムでは、音声やデジカメの画像、動画などを評価情報に貼り付けることができる。今後はそれを積み重ねることで子どものより具体的な評価ができるのではないかと考える。